

## 雑誌「山と渓谷」入選作(1)

斎藤 勲

薄青色は入選第1席になった作品

年	月	俳句	短歌	紀行文
2008	4月号	さわさわと日差しに落ちる樹氷かな	スンパテの香るモレーンの上辿る チョコユーの山並み空の彼方に	
	8月号		雪光る西黒尾根の空近く 黒き巖のザンゲ岩立つ	
2009	2月号		ダンプスピーク頂に吹くそよ風に 旗ははためく夢ははばたく	
	4月号	秋の夜やニルギリ峰に星一つ	風強きカリガンダキの谷に沿う マルファの村に林檎実れり	ダンプスピーク
	10月号	梅雨晴れ間日光黄菅風に揺る		
2010	6月号	みちしるべ風雪のなか揺るがざり		
	10月号	片栗に露置く尾根の霧深し	真夏日を登れば涼し樺木立 静けきなかに時鳥鳴く	
2011	8月号		ザンゲ岩過ぎれば頂近づけり 雪煙立ちて稜線に舞う	
2012	2月号		落葉道下れば南の空高く 山並み蒼し越後三山	
	4月号		赤岳へつづく頼みの鉄鎖取り 吹雪の先の頂きを見る	
	6月号		ブナ林霧氷に白く輝きて 急登に喘ぐ我を迎うる	
	8月号	底雪崩轟き尾根の霧深し	底雪崩遠くに聞きて攀じゆけば 雪消の尾根に岩団扇咲く	
	12月号	ちんぐるま綿毛のそよぎ天高し		
2013	2月号		秋更けて一人歩めるブナの森 熊に届けと吹く呼子笛	
	4月号	朝霧に浮かぶ飯豊の白さかな	ラッセルの先頭に立つ若人ら 姿勢傾け雪を蹴散らす	
	6月号	薪爆ぜてもどる静けさ雪止まず	灯明のひととき揺れて鎮まれり キャンジン・ゴンパに氷河風入る	
	8月号		春風に誘われ残雪の山を攀じ 雪割草の咲く谷に立つ	
	10月号	青空へ飛び立つ如くこぶし咲く		和田草の咲く縦走路
	12月号		残雪に空行く雲の影映し 青空高く駒ヶ岳は麗し	
2014	4月号	りんりんと響く熊鈴秋深し		
	8月号		アイゼンがきしむ凍れる岩を越え 寒気顔刺す赤岳に立つ	
	10月号		吾策像 山を見守る横顔が 初夏の陽ざしに眩しくきらめく	
	12月号	尾上蘭初夏の山頂輝かす	豹紋蝶群れ飛び薊に停まりたり 初夏の守門岳の花の稜線	
2015	2月号		いにしえの人も歩みし峠道 たどりてゆかりの木蔭に憩う	
	4月号		風雪のラッセルに耐え登りきて 白湯回し飲む九人の仲間	
	6月号		深き雪掘りて小暗き小屋に入り 円居の楳火急ぎ熾さん	
	12月号	朱鷺草の薄紅淡し霧の中	頂に浅葱斑の飛翔せり 大海原への闘志抱きて	
2016	2月号	金秋を迎へ湧き出す清水かな		
	4月号	寒月や阿弥陀岳の空に消えかかる	シュカブラのお機屋に立ち大展望 越後三山白銀壮麗	
	6月号	新雪にしるす輪標の軽さ愛づ	ラッセルのトップに立ちて道拓く 凍てつく尾根は雪の花咲く	
	8月号	トマの耳海老の尻尾に春霞む	凍てつきて靴撥ね返す堅雪に 闘志掻き立て雪稜を攀ず	
	10月号	風わたる白山一花の香をのせて	いにしえに銀を運びし道に立つ 合目の標は往時を語らず	
	12月号		底雪崩奔馬駆け去る響きして 大塊小塊奥壁を墜つ	